

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「ココロをドライブする」持続可能な地域交通サービスの担い手として、SDGs を実践し社会課題の解決を図る。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	EV・ハイブリッド車両の新規導入、入替によるCO2 削減の取組み	【CO2排出量】 ・2023年 2,533t-Co2 ・2026年 2,171t-Co2
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	研修機会の提供や過疎地域での交通手段の提供により、住み続けられる街づくりを支える健康経営の実践	【全社員研修の実施】 ・2023年 1回 ・2026年までに3回
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	人事制度、勤務管理、福利厚生等の充実によるドライバー職のモチベーションアップと雇用継続	【社員数】 ・2023年社員数340名の2026年までの維持

<パートナーシップ>

環境へ配慮したシステム開発を自動車メーカーと協力して進める。バス事業者との協力を進め、人口減・過疎化に伴う公共交通力の低下という課題を県内最大タクシー事業者として解決する。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	CO2削減の取組みとしてEV・ハイブリッド車両の新規導入、入替を行っている。また自社で井戸を掘り、水資源への配慮も行っている。 →CO2排出量の削減策として、アイドリングストップ、省エネ運転指導を行ったが、その部分の正確な数値化が出来なかったため未達成とするもの。	2021年4月より年間のCO2排出量を5%削減する。	CO2排出量削減策にかかる、正確な数値を把握出来ていなかった為、未達成とする。
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	健康経営の実践。研修機会の提供、保育施設の導入。過疎地域での交通手段の提供により住み続けられる街づくりを支えている。 →全社員研修や保育施設の導入、過疎地域での交通手段の提供は実施したが、社員のエンゲージメント意識スコアの正確な数値化が出来なかったため未達成とするもの。	健康経営や社会貢献活動から社員のエンゲージメント意識スコアを毎年、向上させる。	社員のエンゲージメント意識スコアの正確な数値を把握出来ていなかった為、未達成とする。
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	新会社としてドライバー職のやりがいと倫理面だけでなく、人事制度、勤務管理、福利厚生から実現。DX導入や大学共同研究から持続可能な公共サービスの提供へ取り組んでいる。 →高齢退職者の補充調整が出来ずにドライバー職社員数の維持が出来なかった。	ドライバー職社員数を維持することにより、公共交通サービス基盤を持続させる。	2023年 在籍率が前年度比95.5%

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。